

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クォーレプレミオ中広教室		
○保護者評価実施期間	8年 2月 10日		～ 8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	8年 2月 10日		～ 8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	科学的根拠に基づいたプログラムを行っている。	プログラム作成の部署があり研修などで情報共有を行っている。 プログラムを立案、指導案の作成を行う部署があり、日々ブラッシュアップされている。	子どもたちの将来につながるようブラッシュアップし続ける。
2	子ども一人一人に寄り添い、細かい対応ができる。	来所前にスタッフでミーティングを行い、1日の流れや来所する子どもの課題や対応方法などを話し合っている。 療育後にフィードバックを行い、スタッフで対応方法や療育の進め方などを話し合っている。	「計画→実行→評価→改善」を常に行う。
3	安全管理の徹底	社内研修を行い、療育中、休憩中、送迎時の危険箇所の把握をおこなっています。 来所前のミーティング時にスタッフの配置などを確認し、安全を確保しています。	スタッフそれぞれ危険性の感じ方が違う為、理解しているだろうではなく常にミーティングで危険箇所の確認を行う必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	協議会等への参加が少ない	出来る限り参加、課題の共有が出来たらいいと思います。	時間の確保が必要。
2	園との連携	園と連携をとり、子ども達の課題を共有し対応する事で子ども達にとってより効果の高い療育が行えると思います。	送迎時に園の職員さんとその日の様子等の情報交換はあるが個人情報や防犯対策の為、連携が取りづらい状況があります。